

2020 年度第 7 回公立大学法人公立諏訪東京理科大学理事会議事録

日 時 2021 年 2 月 22 日 (月) 10:30~11:50

場 所 遠隔会議システムにて実施

出席者 唐澤理事長、小越副理事長、大島理事、牛山理事、柿澤理事、宮坂理事、船木理事、
河嶋監事、柴田監事、(濱財務課長、加藤教務・学生支援課長、堀向総務課係長)

欠席者 なし

[配付資料]

- 1 2021 年度の活動に向けての方針 (案) について (資料 1)
- 2 2021 年度年度計画 (検討案) (資料 2)
- 3 2021 年度予算編成方針と 2021 年度予算 (案) について (資料 3)
- 4 公立諏訪東京理科大学 2021 年度一般選抜志願状況 (資料 4)
- 5 2020 年度新学科検討中間報告 (概要) (資料 5)

[議 事]

1 議題

- (1) 2021 年度の活動に向けての理事長及び学長方針および 2021 年度年度計画(検討案) について

唐澤理事長および小越副理事長から資料 1 をもとに、6 年間の中期目標における 3 年経過時の総括について、中期計画の進捗は志願者、研究面、教育面それぞれにおいて順調であること、2021 年度に向けては他大学と差別化した本学としての教育の特色を出していくこと、研究成果の見える化、地域への還元を図ること、教育研究環境の整備を図ること等を方針とすること等説明があった。

また、牛山理事から資料 2 をもとに、各部門において取りまとめを行った 2020 年度の活動実績とそれを踏まえた 2021 年度の年度計画について、コロナ禍ではあったがオンラインの活用など工夫をして様々な事業を実施したこと等説明があった。

これに対して船木理事から、SDGs や脱炭素等シフトチェンジが必要な事項を盛り込んでいくべきではないか、大学として諏訪地域のデジタルトランスフォーメーション拠点を目指していくべきではないか等の意見があった。また柿澤理事から茅野市において「スーパーシティ構想」への申請を予定しているが大学にも協力いただきたいとの意見があった。

これらを踏まえて審議の結果、活動方針および年度計画について承認され、3 月開催の理事会において最終的な内容について決議することとなった。

(2) 2021 年度予算(案)について

濱財務課長から資料 3 をもとに、2021 年度予算案について、前回の理事会において承認された予算案を事務組合に提示し修正意見等はなかったこと、経営審議会、教育研究審議会においても承認されていること等説明があり、審議の結果、最終的な予算案について承認された。

(3) 2021 年度一般選抜志願状況について

加藤教務・学生支援課長から資料 4 をもとに、2021 年度一般選抜の志願者状況について、前期日程は 3 倍以上、中期日程は 20 倍以上の志願倍率となったこと、会場別では諏訪会場の志願者比率が増加しており地元志向が高まっていることが予想されること等報告があった。

(4) 新学科検討状況に係る事務組合正副組合長会議での報告内容について

牛山理事から資料 5 をもとに、標記の件について、現学科の現状分析及び新学科の検討状況について、事務組合正副組合長会議に報告を行ったところ、現行学科の卒業生が出ていないことから進路状況等を踏まえて十分な検討を行ってほしいとの意見があったことが報告された。

これに対して宮坂理事より、諏訪地域は中小企業が多いので技術だけでなくマネジメントの素養も持つ技術者の育成を十分に行ってほしいとの意見があった。また船木理事から現行組織の延長線上ではなく、地域にどんな人材が必要かという観点で検討を行う必要があるのではいかとの意見があった。

(5) 新型コロナウイルス感染症対策下における本学の対応状況について

加藤教務・学生支援課長から標記の件について、4 月以降の本学の授業については少なくとも 8 割以上の授業を対面で実施すること、三密を避けられない科目については対面授業とオンラインを併用すること、本内容については本学ホームページにて公開していること等報告があった。

以上